

表彰・感謝状

宮島久夫さん 兵庫県技能顕功賞受賞



宮島久夫さん（八鹿町岩崎）は、昭和41年から家業であった臼・杵の製造業を受け継いで以来、丸カンナ、手ヨキなど先代から引き継いだ道具を駆使され、自分の技術のみを頼りに臼と杵を造られてきました。

現在は、その高い技術を継承するため後継者の育成にも力を注がれています。

宮島さんは「先代と一緒に、臼の材料となるケヤキを山から切り出していた頃が懐かしいです。井戸知事から表彰をいただき、とても感激しました」と話されました。

山崎たみ子さん 消防功労者総務大臣表彰受賞



山崎たみ子さん（三谷）は、昭和38年に養父町婦人予消防隊に入隊。また、昭和55年の建屋婦人防火クラブ発足と同時に入会され、家庭における防火・防災活動に積極的に取り組まれてきました。

また、平成17年からは兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の会長、翌年からは養父市婦人防火クラブ会長を務め、会員の取りまとめや研修会の実施などを通して防火思想の普及活動に日々尽力されています。

山崎さんは「私個人がいただいた賞ではなく、会員全員の取り組みが認められていただいた賞です。受賞を励みに、より一層の防火活動を展開していきます」と話されました。

大杉さんご踊保存会 地域文化功労者表彰受賞



全国各地で芸術文化の振興や文化財の保護などに尽力し、地域文化の振興に功績があったとして、大杉さんご踊保存会（正垣吉規会長）が文部科学大臣から地域文化功労者表彰を受賞しました。

同保存会は昭和38年に設立され、毎年8月16日に大杉さんご踊を二宮神社に奉納しているほか、兵庫県を代表して県内外で公演活動に積極的に取り組まれています。

また、大杉さんご踊は、昭和41年に県指定重要無形文化財、昭和48年には国の無形の民俗文化財に選択されています。

市内ライオンズクラブ 表彰・感謝状を受ける



八鹿ライオンズクラブの圓山会長



大屋ライオンズクラブの井原会長

八鹿ライオンズクラブ（圓山昇会長）が日本赤十字社銀色有功章を受賞し、大屋ライオンズクラブ（井原弘志会長）が日本赤十字社兵庫県支部長感謝状（金色枠）を贈られました。八鹿ライオンズクラブは八鹿・養父・関宮地域で、大屋ライオンズクラブは大屋地域で、献血の呼びかけや受付をお手伝いいただくなど献血事業にご協力いただいています。

第5回 借金でお悩みの方はまず相談を!

借金を返すために他の貸金業者から借金を繰り返し返す、いわゆる「多重債務」に陥っている人がたくさんいます。

最初はちよつとしたきつかけで借金をしたことからは始まり、そして誰にも相談できずに追いつめられていきます。借金は債務整理で解決できません。

★債務整理には…

- 「任意整理」
- 「特定調停」
- 「個人版民事再生」
- 「自己破産」

の4種類の方法があり、それ



ぞれメリットとデメリットがあります。自分にあつた方法を選んで債務整理を行います。

また、高い金利で長年返済を続けていた場合、法定金利で引き直して計算すると、借金が減額される場合があります。中には払いすぎていて、お金が戻ってくることもあります。

【例】

Aさんは10年前、友人から頼まれてサラ金から借金をしました。その後、借金の返済のために借金を繰り返し、毎月20万円ぐらゐ返済を続けていますが、まだ借金が300万円以上残っています。

↓本来、上限15〜20%と決められている借金の金利が、Aさんの場合はほとんどで29・2%近くで設定されていました。

そこで、10年分の借り入れと返済の履歴を金利を引いて計算し直したところ、すでにほとんどの借金は返済が終

わっており、中には払い過ぎていたものもありました。

Aさんは任意整理を行うこととし、その結果、借金はすべて無くなり、さらに200万円が返ってくるようになりました。

このように払い過ぎていたお金を「過払金」と言います。「過払金」の請求は完済後10年で時効となります。心当たりがある方は早めに手続きをする必要があります。

悩んでいるうちに借金は利息で膨らんでいきます。1人で悩まずに、まずは相談してください。

相談窓口

市役所市民課

(☎) 662-3163

県立但馬生活科学センター

(☎) 0796-23109

99)

司法書士の無料法律相談

※予約が必要です。

(☎) 676-3368

まちの文化財 ⑤1

建屋のヒダリマキガヤ



このカヤの木は、昭和26年6月9日に国指定天然記念物になりました。種子の外殻と内殻に左巻の模様が付いていることから「ヒダリマキガヤ」と呼ばれています。

全国のカヤの木では第8位、西日本では第1位の巨木になります。また、ヒダリマキガヤに限定すると全国一の巨木です。幹周りが3mを超えるものを巨木と呼びますが、幹周りは約6・9mもあります。高さは約26mで、推定樹齢は約800年です。

ヒダリマキガヤのある場所は、明治時代に第3代京都府知事と

して琵琶湖疎水を完成させ、この水を利用して日本で最初の水力発電事業を推進した北垣国道氏の生家があつた場所です。

現在、葉の量が著しく減少して枯れ枝が増加し、衰弱が著しいため、平成19年度から3年計画で樹勢回復事業を進めています。地面を掘って根の生育状況も調査したところ、幹の北側から西側では、わずから5m離れただけで根が枯れて全くありませんでした。巨木は根が太つて、地面から根上がりを行います。しかし、根を土で覆つと根も木も衰弱します。土の硬度が18以上になると根が育ちませんが、調査した結果、硬度が30もありました。

治療のために、木の周囲にある盛土を取り除き、地面を軟らかくするために水コケと腐植土を混ぜた土を入れました。さらに、カヤは水を好む植物であることから、木の付近に水が染みるように水路を設置しました。樹勢回復のポイントは、元氣な根を育成させて枝や葉を活性化させることです。養父市のシンボルになっているこの巨木を再生させるため、兵庫県下の樹木医の知恵を集めて治療を進めています。

(教育委員会社会教育課)